

# 中級:問題4

## 模擬処方箋

カタカナ 氏名	カンジャ サイベエ 患者 才兵衛		間違井 病院 内科
年齢	78歳1ヵ月	男	マチガイ スギタ 間違井 杉太 医師
処方	変更不可	個々の処方薬について後発医薬品への変更に差し支えがある場合、☑を入れ記名・押印する。	
		Rp1. 【般】ランソプラゾール口腔内崩壊錠15mg 1錠 【般】ロスバスタチン錠2.5mg 1錠 【般】ビソプロロールフマル酸塩錠2.5mg 1錠 1日1回 朝食後 30日分	
		Rp2. 【般】アムロジピン錠5mg 2錠 1日2回 朝夕食後 30日分 (降圧コントロールのため)	
		Rp3. クレメジン速崩錠500mg 12錠 1日3回 毎食間 30日分	
		Rp4. 【般】セレコキシブ錠100mg 2錠 1日2回 朝夕食後 10日分 (痛みに応じて調節する)	
	【以下余白】		
備考			このQRコードを読み取ることで問題を印刷できるサイトへ接続できます。 
	「変更不可」に×を記載した場合は記名・押印すること。		
	保険医署名	印	

## 基礎情報

既往歴	副作用歴	日常動作	嗜好品	アレルギー	妊娠・授乳
なし	なし	なし	なし	なし	-

## 今回処方と過去の処方歴

医薬品名	今回	31日前	57日前
ランソプラゾールOD錠15mg 朝食後 1回1錠	30日分	30日分	30日分
ロスバスタチン錠2.5mg 朝食後 1回1錠	30日分	30日分	30日分
ピソプロロールフマル酸塩錠2.5mg 朝食後 1回1錠	30日分	30日分	30日分
アムロジピン錠5mg 朝夕食後 1回1錠	30日分	30日分	-
クレメジン速崩錠500mg 毎食間 1回4錠	30日分	30日分	30日分
セレコキシブ錠100mg 朝夕食後 1回1錠【調節指示】	10日分	-	-
ケイキサレートドライシロップ76% 毎食後 1回3.27g	-	30日分	30日分
アムロジピン錠5mg 朝食後 1回1錠	-	-	30日分
リンゼス錠0.25mg 就寝前 1回2錠	-	10日分	10日分

## 今回処方の患者の訴え

腰痛がひどく、痛み止めを追加で処方してもらいました。  
 血圧は落ち着いている。ケイキサレートとリンゼスは残薬があります。

## 前回処方(31日前)の薬歴

S : 早朝の血圧が高く、降圧薬を増やすことになりました。  
 今までの薬を、朝夕に服用するよう言われた。  
 O : 継続(前回)、アムロジピン:5mg分1→10mg分2へ増量。併用薬なし。  
 アムロジピン:用法相違(早朝高血圧のため)。BP:143-103。  
 A : 降圧薬の増量について。  
 P : アムロジピンは、1日2回になるので、飲み忘れなく服用してください。  
 起床時、血圧を測ること。しばらく血圧変動に注意してください。  
 N : アムロジピン増量後、早朝の血圧は下がってきたか？